

テーマ

家族で食卓を囲める家庭を目指そう。

目標

保護者と地域が地産地消を通じ「週3日は家族で食卓を囲もう」運動を進める。

今年度の取組紹介

◎ 地域の田畑を利用した栽培活動

【幼稚園】 田植え体験（しろかき・苗とり・田植え）

【小学校】 野菜植え・管理（夏、冬2回）

【中学校】 紫いも栽培

◎ 環境美化作業（夏冬2回）

- ・ 花の苗植え付け
- ・ 校内草刈り、ゴミ拾い、落書き消し

◎ 平城“食と農”ふれあいフェスタ 2013

- ・ 味噌づくり、豚汁づくり
- ・ 模擬店（新鮮野菜、みたらし団子 他）

◎ 食について学ぼう（JAの協力を得て）

- ・ 子どもたちから家庭へ食事についての大切さを伝えました。
- ・ 料理のレシピ、講演を通じ家庭へ働きかけました。



今年度のまとめ

- ◎ 「平城“食と農”ふれあいフェスタ 2013」は2000人を超える参加を得ました。地域にも少しずつではあるが浸透してきました。
- ◎ フェスタを通して地域内の各種団体が連携できました。
- ◎ 平城中学校区においては、学校との協力関係が非常に強く、今後も共に地域の子どもの未来のためになる活動が出来ました。
- ◎ 家族で食卓を囲む割合が全国平均を上回りました。

来年度に向けて

- ◎ コーディネーターの負担が軽減できるよう地域全体の協力体制を確立する必要があります。
 - ・ 支援の人材を一層増やす必要があります。
 - ・ P T Aの協力と地域の組織からの支援体制を強力に進めます。
- ◎ 一層、広報活動を充実させる必要があります。
 - ・ 学校から保護者へ毎月・活動報告を行います。
 - ・ 地域教育協議会から各自治会を通じ活動報告を行います。

テーマ

家族で食卓を囲める家庭を目指そう。

目標

食と農の活動を地域・保護者にひろげ、「家族で食卓を囲もう。」の運動を進める。

今年度の取組紹介

◎ 平城“食と農”ふれあいフェスタ 2013

- ・ 地域の田畑を利用した栽培活動、パープルスイーツづくりと販売
- ・ 学習発表、展示発表、舞台発表、未就園児、幼稚園児、小学生のためのあそびコーナーの企画運営
- ・ 模擬店の手伝い



紫いもの苗植え

◎ 環境美化作業CG大作戦（夏冬2回）

- ・ 花の苗植え付け
- ・ 校内草刈り
- ・ 校区内ゴミ拾い
- ・ 校区内の落書き消し



落書き消し

今年度のまとめ

- ◎ 栽培、収穫、調理、製品化という過程を通して子どもたちに自然や人を愛する豊かな感性や自己有用感、自尊感情を育み、責任感や規範意識を養うことを目指して取り組みました。自己有用感を育む上で効果があったと思われます。
- ◎ 「平城“食と農”ふれあいフェスタ 2013」は2000人を超える参加を得ました。地域にも少しずつではあるが浸透してきました。また、フェスタを通して地域内の各種団体が連携できました。
- ◎ 諸活動を通じて幼稚園、小学校、中学校、地域が連携し、関わり方が密になりました。
- ◎ 家族で食卓を囲む割合が全国平均を上回りました。

来年度に向けて

- ◎ 授業時数の確保と事業の充実を両立させることが困難ですが、来年度も本取組を継続していきたいと思います。
- ◎ コーディネーターの負担が軽減できるよう地域全体の協力体制を確立する必要があります。
- ◎ 一層、広報活動を充実させる必要があります。

テーマ

食と農の活動を地域や保護者にひろげ、 家族で食卓を囲もう。

目標

「家族で食卓を囲もう」を地域全体の目標に、様々な体験を通して豊かな心や規範意識、達成感、成就感を養い、コミュニケーション能力を伸ばす。

今年度の取組紹介

◆米作り体験学習

5年生が地域の方に田圃を借りて米作りを体験させてもらいました。この体験学習は、今年で4年目になります。田植えから稲刈りまで地域の方々が応援してくださいます。収穫祭にはお世話になった方々に出席していただき感謝の会を実施しています。



◆10月24日平城“食と農”ふれあいフェスタ2013

県営競輪場を会場に、幼、小、中、地域の2000人以上が参加し地域の連携の広がりを感じることでできたフェスタは、中学校や地域のバザー・炊き出し、大道芸人によるパフォーマンス、保護者の人形劇、そして、学習発表と充実した時間になりました。また、今年度初めて委員会で栽培した野菜を「形は悪いが味はいい」をキャッチコピーに販売しました。さらに、今年は平城中に進学する西大寺北小6年生も参加し、小中一貫教育にもつながりました。



◆11月16日 平城っ子の畑で収穫したサツマイモを使って焼き芋大会を実施しました。幼児、児童、PTA、地域の方、総勢150人以上が集まり、大いに盛り上がりました。

今年度のまとめ

様々な体験活動で児童の理解が深まり、達成感や成就感を味わうことができました。

今年度は、平城っ子の畑や学校・学級園で栽培した野菜を使った感謝祭やサツマイモ大会。また、地域の様々な団体を巻き込み300人以上の参加を得た「もちつき大会」など昨年度までの取組を継承発展させることができました。ただ、栽培活動全般に関して、各学年の計画に不十分な面があるのが課題です。

来年度に向けて

栽培活動に関して課題があります。各学年の発達段階を考えた体験学習を整理し、児童の成長により効果的な栽培体験学習を年度初めにしっかり計画し、地域の協力を得て実行していきます。また、来年度のテーマを「地域の絆を深めよう」と設定した。このテーマを達成するために学校としてどのようなことができるかみんなで検討し、みんなで実行していきたいと考えています。

テーマ

学校園・家庭・地域が連携して取り組む食育

目標

保護者地域の人々の教育力を活かし、様々な体験や栽培活動を行なうことで、地域の方に親しみを感じ育てる楽しさや収穫の喜びを味わう。

食べることで丈夫な体がつくられることを知り、食事の大切さを感じ家庭や幼稚園での経験をもとに会話を楽しみながら食卓を囲む家庭を目指す。

今年度の取組紹介

○ 保護者や地域の方々との栽培活動

(1) 地域の方の畑でサツマイモを育てる

今年は親子で地域の方にサツマイモのツルさしを教えていただき、収穫の時には、大きなサツマイモが収穫できたことを一緒に喜んでくださり、楽しい時間を親子で過ごすことができました。後日、地域の方を招いて焼き芋パーティーをし、一緒に食べたり、感謝の気持ちを伝えたりしました。



(2) 園児と希望のあった保護者と地域の方とお米作り

幼稚園の近くの田んぼを地域の方にお借りして、田植えの仕方や稲刈りの方法を教えていただきました。園児や保護者は、初めての経験を楽しんでいました。後日、収穫したお米は「おにぎりパーティー」で地域の方を招待して一緒におにぎりとお汁を食べました。子どもたちから地域の方に話し掛け、親しみと感謝の気持ちをもつことができました。



今年度のまとめ

- 今年は親子でサツマイモの栽培や田植え・稲刈りの活動を行なったことで、保護者からは初めての経験でとてもいい機会をつくってもらったとの声が聞かれました。
- 様々な活動で、地域の方々とかかわることで自分から挨拶をしたり、感謝の気持ちを伝えたりする姿が多く見られました。
- 平城地域で沢山の方に見守られて、生活しているという思いを親子でもつ機会となりました。
- 栽培活動を通して食への関心が高まり、保護者も収穫した野菜などを食卓に出したり、お弁当に入れたりなど家庭でも収穫の喜びを味わう機会となりました。

来年度に向けて

- 様々な活動を通して、子どもたちに地域の方々への親しみや感謝の気持ちが育ってきています。今後も地域の方々との連携を密にし、様々な活動の支援に生かしていきたいと考えます。